NEWS RELEASE
報道関係者各位

【2018年12月5日（水）AM4:00情報解禁】

トビタテ！留学JAPAN
その経験が、未来の自信。

2018年12月吉日

《高校生の留学率、１％…。留学のイメージがわかない現状を変えるプロジェクト》

語学は苦手！初海外！な高校生の留学に密着、Before&Afterを可視化

『高校生の留学ドキュメンタリー ～なんとなくで決めた留学編～／～初海外、驚きの連続編～ 』
2018年12月5日（水）より、公式サイトにて動画（50秒/5分版）を公開
～全国の教育委員会、保護者会、高校等を通じた放映を予定～

『高校生の留学ドキュメンタリー ～なんとなくで決めた留学編～』
（浜松西高等学校 1年生 松浦彩夏さんの場合）

『高校生の留学ドキュメンタリー ～初海外、驚きの連続編～』
（中央大学附属高等学校 3年生 阿部大祐さんの場合）

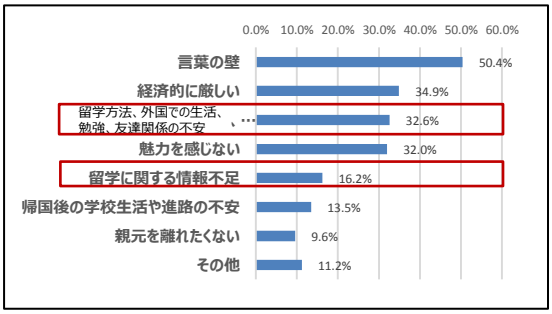
動画プロジェクト
特設サイト

文部科学省が官民協働で取り組んでいる留学促進キャンペーン「トビタテ！留学JAPAN」は、 WEBムービー『高校生の留学ドキュメンタリー ～なんとなくで決めた留学編～』と、『高校生の留学ドキュメンタリー ～初海外、驚きの連続編～』の２作品を、2018年12月5日(水)より公開します。（https://www.tobitate.mext.go.jp/hs/documentary）
本ムービーは、**2018年の夏休みに初めて留学した高校生(ロンドンへ3週間留学した松浦彩夏さんと、ドミニカ共和国へ2週間留学した阿部大祐さん)の協力により、留学先での生活を追いながら、2人の変化や成長を捉えたドキュメンタリー**です。

■高校生の留学率はわずか約1%！語学力や情報不足がネック

日本の高校生の留学率は約1% ※1と大変低い数値となっています。
留学を阻害する最大の要因として、語学力があげられます。外国語が話せなくても留学できることや、言葉の壁を乗り越えてコミュニケーションできることを伝えることには大きな意味があるといえます。また上位に、「留学・生活に関する不安」と「情報不足」があげられておりリアルな留学の様子を高校生へ伝えることが必要だとうかがえます。 (図1)

(図1) 留学を希望しない理由（複数回答可）

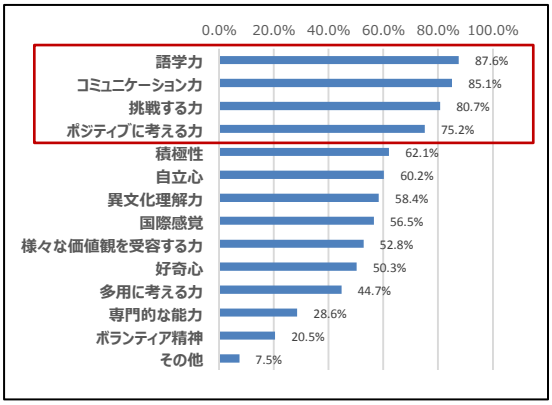


出典：文部科学省　平成27年度高等学校等における国際交流等の状況について

■短期であっても重要な力が身についたと、本人は実感。一方で教職員や保護者など、大人の理解度の低さが課題

高校時代の短期留学（1ヶ月以下）は効果があると考える保護者、教師、その他社会人等は、約2～3割にとどまり、その意義は十分に理解されていないのが現状です。(参考1、2)
一方で、短期留学経験のある高校生の8割以上が留学により「将来に対する考えが変わった」、9割以上が「もう一度留学したい」と思っており、大きなインパクトがあるとわかります。
また、留学で身についた力について聞くと、8割が、語学力だけではなく、「コミュニケーション力」、「挑戦する力」、「ポジティブに考える力」が身に着いたと回答 (図2)しています。それは、経団連の報告書※2にまとめられた“企業がグローバル事業で活躍する人材に求める素質、知識・能力”と一致し、重要な能力と言えます。

(図2) 留学によってどのような力がつきましたか？（複数回答可）



出典：文部科学省　トビタテ日本代表プログラム
高校生コース派遣留学生(短期)向けアンケート（2017年１月）

日本の高校生の留学の9割近くが1カ月未満の短期留学になりますが、10代の多感な時期に家族と離れ、異文化の同世代と交流する留学経験は、短期であっても学生の価値観に大きな影響を与え、今後の学びの大きなきっかけになるといえます。そのことを高校生本人はもちろん、取り巻く大人にも伝えるために、短期留学生に密着取材したドキュメンタリームービーを制作し、留学への理解促進と機運醸成を目指します。

※1・・「文部科学統計要覧」（平成28年度）高等学校等生徒数と、「高等学校等における国際交流等の状況について」（平成27年度）の調査結果より算出
※2・・経団連「グローバル人材の育成・活用に向けて求められる取り組みに関するアンケート結果」（平成27年3月17日）

■ムービー概要
公開日：2018年12月5日（水）

『高校生の留学ドキュメンタリー ～なんとなくで決めた留学編～』（浜松西高等学校 1年生 松浦彩夏さんの場合）

高校1年生、松浦彩夏さんの3週間のロンドン留学に密着。先生に“就活に有利だから”と言われなんとなく決めてしまい、不安でいっぱいだった。留学中、その不安は的中し、自分の英語が想像以上に通じない環境にとまどいながらも、写真を一緒に撮ることをきっかけに交流を広げ、次第に自らが考えた日本文化を伝える授業を行うなど、外国人との交流を楽しめるようになるまでの挑戦を追いました。

50秒版：https://youtu.be/JdNNgU5wA1s
5分版：https://youtu.be/js8YAHrrw-0

5分版

『高校生の留学ドキュメンタリー ～初海外、驚きの連続編～』（中央大学附属高等学校 3年生 阿部大祐さんの場合）

高校3年生、阿部大祐さんの2週間のドミニカ共和国留学に密着。野球部で部活に打ち込んできた阿部さんが、肩を故障したことをきっかけに、多くのメジャーリーガーを輩出するドミニカ野球の指導法に興味を持ち留学。日本とは違う価値観と出会い、今後の人生で大切にしたい考え方を得た様子を追いました。

50秒版：https://youtu.be/dDfTklJAoxU
5分版：https://youtu.be/ToYNzqohxLA

5分版

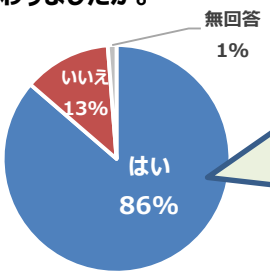
■「トビタテ！留学JAPAN」とは　（公式WEBサイト: https://www.tobitate.mext.go.jp/ ）

文部科学省初の官民協働留学促進キャンペーン。2020年までに、海外留学する若者を倍増する（高校生3万人→6万人、大学生6万人→12万人）目標を掲げてスタートしました。主な取り組みである「日本代表プログラム」は、100%民間の寄附を財源とし、民間企業約230社から116億円以上の寄附が集まり、返済不要の奨学金でサポートする留学支援制度です。座学だけではない多様な留学を通じて、世界で活躍できる人材の育成を目指し、既に6,000名以上を選抜し約100か国に留学しています。高校生コースは現在第5期募集中（2019年1月末締切）で、大学生は11期募集中（2019年3月1日締切）です。

＜本件に関する報道関係者お問合せ先＞
「トビタテ！留学JAPAN」PR事務局　（株式会社サニーサイドアップ.内）　担当：楠（070-3115-6616）、新井
TEL：03-6894-3200／FAX：03-5413-3050／MAIL：tobitate@ssu.co.jp
https://www.tobitate.mext.go.jp/index.html

（参考1）短期留学した高校生向けアンケート

■留学によって将来に対する考えが変わりましたか。



その理由は何ですか。

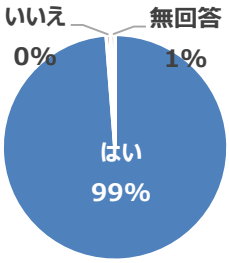
■日本の中で活躍するより世界に出て日本と他の国との架け橋となれる人になりたいと思うようになったからです。
（2年生男子・3週間未満）

■　海外に行くと見る世界が変わってきて、海外との距離が近く感じることができるようになり、将来も海外と連携して何かを成し遂げたいと思ったから。（2年生女子・3週間未満）

■留学して沢山の選択肢を知ることで将来についてより深く考えられたから。（1年生女子・2週間）

■　留学先の友達と将来について話した時、ほぼみんな自分のビジョンを明確に持っていたため自分も頑張らなければと思えたから。
（2年生女子・4週間未満）

■もう一度留学したいと思いますか。

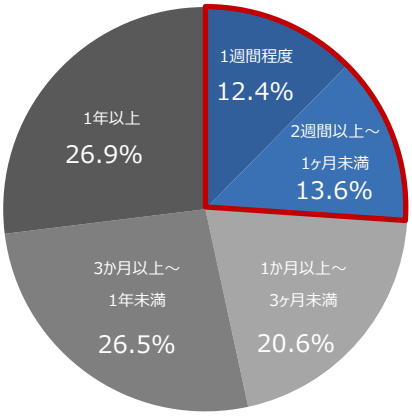


出典：文部科学省 トビタテ日本代表プログラム 高校生コース派遣留学生(短期)向けアンケート （2017年1月）

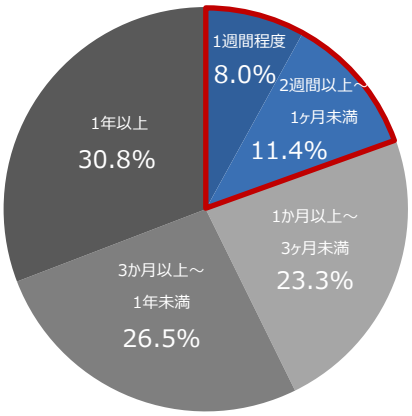
（参考2）

■（高校時代の留学について）効果がある海外留学期間について最もお考えに近いものをひとつお選びください。

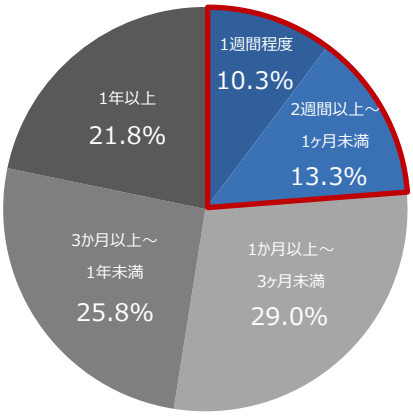
【保護者】



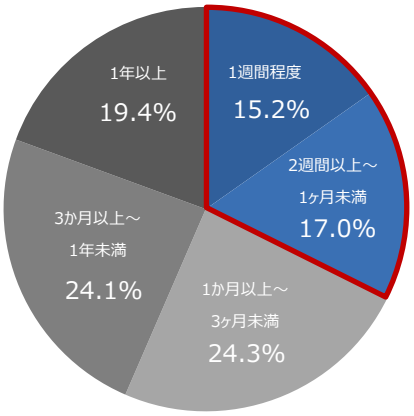
【社会人】



【採用担当者】



【高校教師】



出典：トビタテ!留学JAPAN「留学に関する調査」（2018年5月）